

「みんなが幸せになる会社」実現に向け
全従業員で取り組んだ
健康管理・業務効率化・ペーパーレス化

ITソリューション体験フェア2026

埼玉県DX推進支援ネットワーク様主催のITソリューション体験フェアに埼玉DX大賞受賞者として弊社社長 福島一徳が講演を行いました。たくさんの方に講演を聞いていただき、ありがとうございました。社長から直接ご来場の皆様へ福島食品の想いや、DX化の良さが伝わったのではないかと思います。最優秀賞のヤマザキライス様、弊社と同じく優秀賞を受賞された有田株式会社、比企オプティク様も講演を行い、福島食品とは違ったDXの活用をされており大変勉強になりました。



埼玉県DX推進支援ネットワーク様主催のITソリューション体験フェアに埼玉DX大賞受賞者として弊社社長 福島一徳が講演を行いました。



フェアにはDX推進においてご尽力いただいた株式会社アクシス様も参加されており、受賞をとても喜んでいただきました。また、サポートいただいている、埼玉県産業振興公社様ともお話しできました。社内には、業務内容的に簡素化・効率化できるところがまだまだたくさんあります。お取引先のお客様へスムーズなご対応ができるよう、DX化を推進していければと思います。

～DX化と社会貢献の活動について～

社会的貢献

- 社会的課題への貢献
 - 効率的（デジタル）な配送による排出ガスの削減
 - 勤怠管理（ジョブカン）による働き方の改善、勤務時間内容の均一化
 - 在庫管理（WMS）による食品の廃棄、ロス率の低減
- 当社に関わる全てのステークホルダー（従業員・地域社会・顧客・仕入先・銀行・その他協力会社）
 - ウェアラブル端末、IoTによる体調管理システムで従業員の健康増進の提供
 - サプライチェーンマネジメントにおけるプロセス設計
 - 生産性向上による労働環境と待遇の改善
 - ECサイト導入による顧客へのサービス向上
 - 利益の5%を社会貢献活動に協力

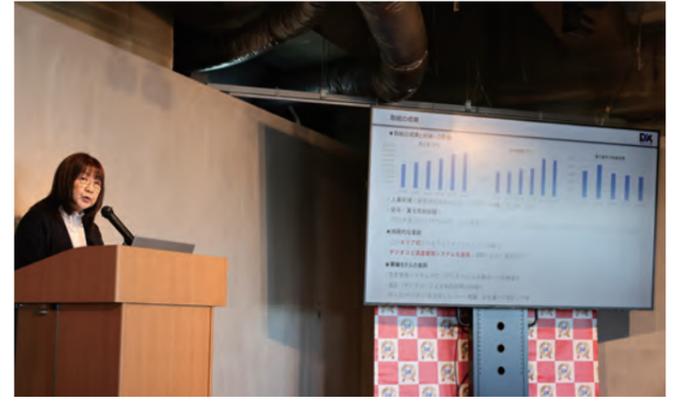
SAITAMA社員表彰式、こども食堂食料提供、福島県、配膳台の寄付（近隣中学校）

埼玉社会社会貢献賞&埼玉DX大賞の両方を受賞することができました。様々な皆様のご協力をいただき、実現することができ感謝申し上げます。「みんなが幸せになる会社」を目指すにあたり、会社の利益だけでなく、手の届く範囲の皆様へサポート出来るよう努めています。



埼玉DX大賞 優秀賞受賞

2月3日、第三回「埼玉DX大賞」の授賞式に出席させていただきました。「埼玉DX大賞」は、埼玉県と埼玉DX推進支援ネットワークにより、県内中小企業等の優れたDXへの取組を表彰するものです。



福島食品は「優秀賞」という賞をいただくことができました。社員27名、DX推進室2名。パソコンに詳しいものもおらず、手探りで進めていたDX化がこのような形でスポットライトを浴びたことにも驚いています。社長を筆頭に「みんなが幸せになる企業」を目指して働く中で、最初にDXをしたのが「社員の安全にかかわること」でした。デジタル化というと、効率化など売上のためにやることが多いイメージです。しかし、福島食品は逆に安全にかかわる事から着手を始めました。

始めは社員の安全から

最初は「IoT温度管理」。2020年まさしくコロナの渦に巻き込まれている最中です。

加速するDX化

こちらのシステムを使うことにより、日々の社員の体調管理が可能になり、また毎日マイナス30℃の冷凍庫内で確認していた庫内温度管理も24時間365日デジタルで確認できるようになりました。その次はデジタル運行管理。納品先や納品時間、冷凍車の庫内温度がすべてリアルタイムでパソコン上で管理できるようになりました。さらには運転技術が点数で把握できるようになり、急加速・急旋回など運転技術の未熟なドライバーを把握し、講習などの指導が可能になりました。

その他にも勤怠管理ツールにて労務管理が簡素化され同じツール内にて、ストレスチェックができるようになりました。さらには、ウェアラブルコネクトと呼ばれる腕時計を使用することにより冷凍庫内で働く従業員の健康管理がリアルタイムで可能になりました。

それぞれの持ち味を生かした講演となり、どの講演も満席でした。講演に参加されたお客様もメモをとりながら真剣に聞いておられたのが印象的でした。



特に冷凍庫内は閉じ込めや急な体調不良により動けなくなった場合に早急な対応が必要になります。こちらを使用することによりもし庫内で意識不明になった場合は自動で事務所にSOSが届くようになります。 「みんなが幸せになる企業」を目指す中で、社員の安全・安心は不可欠です。そういった想いが形になり、今回の受賞につながったのではないのでしょうか。